



# 下関市運動部活動改革の取組について

## ～運動部活動の地域移行実証事業～

下関市観光スポーツ文化部 スポーツ振興課

### 下関市の現況【令和3年度】

学校数：公立中学校22校

生徒数：5,910人

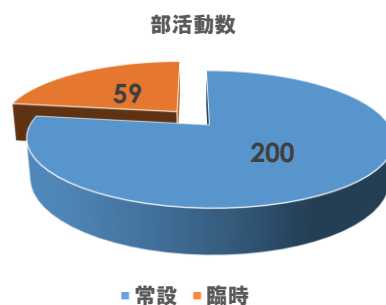
運動部活動数：259クラブ

運動部活動加入者数：4,055人

加入率：約69%

外部指導者登録数：91人

※部活動指導員の配置なし



## 少子化の進展

### <小学校児童数>

昭和56年度

↓ 31,539人

令和2年度

12,069人

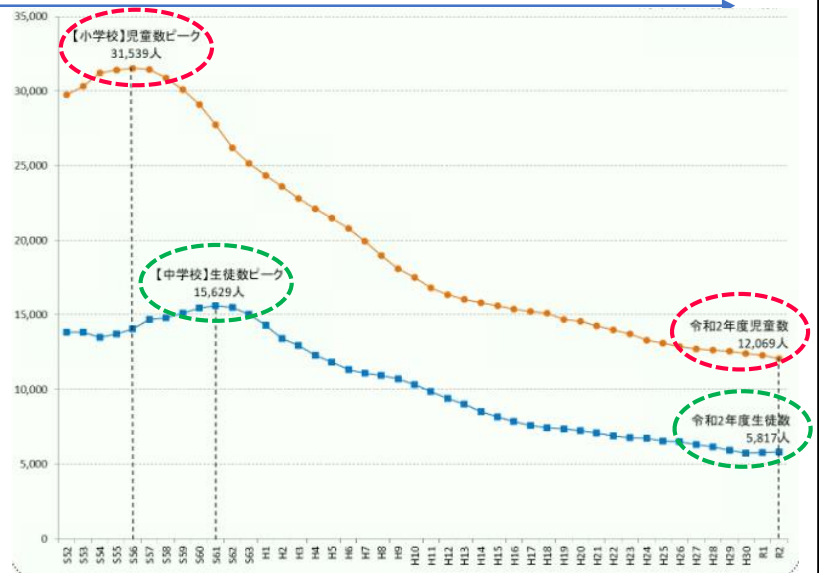
### <中学校生徒数>

昭和61年度

↓ 15,629人

令和2年度

5,817人



3

## 運動部活動の改革の方向性【提言から】

このまま少子化が進展していけば・・・、

どの中学校等においても、**運動部活動は廃部や休部、活動の縮小に追い込まれる**ことが想定される。



運動部活動の質・量の両面からの低落傾向が進み、**運動部活動の維持が困難となる前に、生徒がスポーツに親しむ機会を、地域において広く確保できるようにしていく必要がある。**

4

## 今後の目指す姿【提言から】

---

単に運動部活動を学校から切り離すということではなく、  
子供たちの望ましい成長を保障できるよう、



**地域の持続可能で多様なスポーツ環境を一体的に整備し、**  
地域全体で子供たちの多様なスポーツの体験機会を確保。

## 新たなスポーツ環境【しものせきモデルの構築】

---

### しものせきモデル構築のための実証事業の実施



「持続可能」という視点を置いたとき、どのような  
環境であれば、それが可能となるのか？



課題の検証

## 課題とゴール

1

ガバナンスが確立された運営主体の選定

2

量と質が確保された指導体制の構築

3

市全域で統一された運営方針の決定

4

生徒・保護者が安心できる制度設計と周知

7

## 実証事業による検証



運営  
主体

様々な責任問題に対応できる組織を検討

コーディネートやマネジメント能力の有無



指導  
体制

指導者の量の確保方策、責任の所在

指導者の質を確保する研修等の在り方

8

## 実証事業による検証



運営  
方針

ニーズ把握やビジョン、運営計画の決定

費用負担や公的支援の在り方



制度  
設計

学校運動部活動との連携

持続可能な仕組みの構築

## 目指す地域のスポーツ環境【提言から】

●複数の運動種目の活動



●同じ運動種目であっても、レクリエーション志向の生徒向けの活動と競技志向の生徒向けの活動

●競技志向の活動であっても、複数のレベルに分けた活動



**生徒の志向等を改めて確認しながら多様な活動を開設**

## 新たな地域クラブへの取組（実証事業の目指す環境）

### 下関市地域クラブの目的



「運動したい全ての子どもたちが参加可能で、  
競技力向上のみを目的としない多様な運動機会の確保」



現在の中学校等で設置されている運動部活動の種目を、  
そのまま地域で継続させることを過度に重視しない。

## 新たな地域クラブへの取組（実証事業の目指す環境）

### 活動のイメージ



スポーツ教室（ハードルを下げた活動）



クラブとしての大会参加を目的としない



アウトドアスポーツ、複数種目が体験できる活動



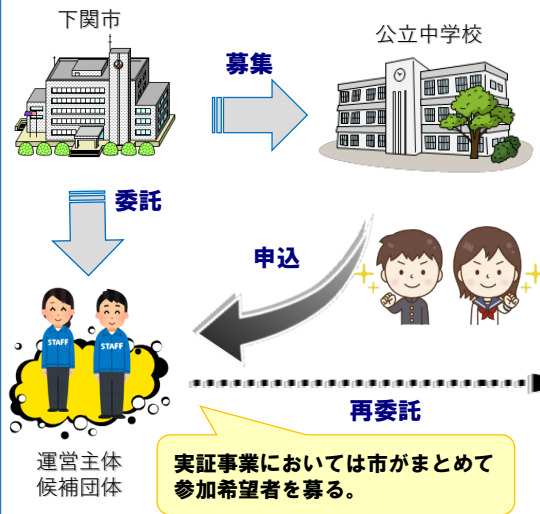
運動部活動に加入していない子どもの掘り起こし

※競技力向上を否定するものではない

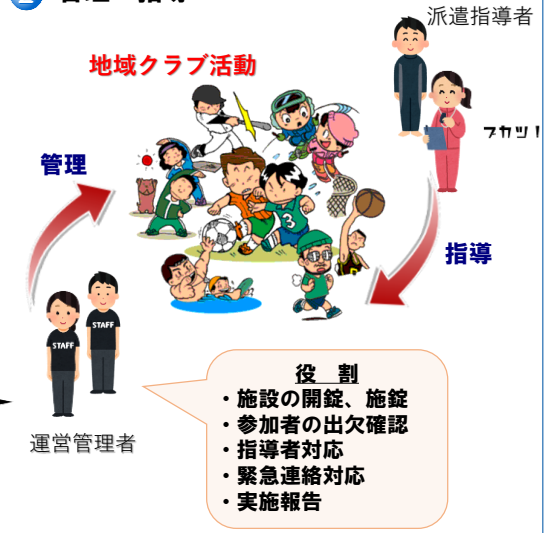


## 実証事業のスキーム

### 1 募集・申込



### 2 管理・指導



13

## 新たな地域クラブへの取組（実証事業）

### 運営主体（受け皿）

- 👉 総合型地域スポーツクラブ【菊川S.C】
- 👉 公共体育施設管理者【公営施設管理公社】
- 👉 競技種目団体【市体育協会】
- 👉 まちづくり団体【まちづくり協議会】








**性格、目的、エリアの異なる団体で実証を予定**

14

## 新たな地域クラブへの取組（実証事業）

### 運営主体（受け皿）の役割






-  事業周知、参加者の募集、受付
-  活動のマネジメント【活動計画等】
-  指導者のマネジメント【指導者の確保等】
-  参加者のマネジメント【保険加入等】
-  関係団体のコーディネート【学校ほか】

実証事業における事業の周知や参加者募集等は市が積極的に関与する。

活動種目等については、本市が目指す活動イメージに沿ったものを計画。

## 新たな地域クラブへの取組（実証事業）

### 管理指導員（再委託）の役割

-  施設の開錠、施錠
-  参加者の出欠確認【安全管理含む】
-  指導者対応【指導者との連絡調整等】
-  緊急連絡対応
-  実施報告【運営主体への報告等】



主として活動当日の現地でのマネジメントを運営主体（受け皿）から委託を受け、担うことをイメージ。

スポーツ少年団や地域のスポーツ団体を想定。



## 新たな地域クラブへの取組（実証事業）

### 指導者

#### 現地での技術指導を基本とする



スポーツ教室の講師のイメージ。指導以外のマネジメントについてはできるだけ排除する方向。有償での指導（謝金対応）。

#### <課題>

- ・常に同じ人材を確保することが可能か？
- ・指導者が入れ替わる場合、継続性の担保はどうするか？
- ・指導計画は誰が立てるのか？ などなど…。

17

## 新たな地域クラブへの取組（実証事業）

### 活動エリア

#### 500～600人規模でエリアを形成



少子化の進展が課題の背景。中学校区単位での活動が困難な地域も多いため、複数校区による概ね500～600人規模のエリアを形成。

#### <課題>

- ・中山間地域ではエリア面積が拡大【移動手段の問題】
- ・他のエリアからの参加希望の取り扱い

18

## 新たな地域クラブへの取組（実証事業）

### 活動施設

#### 学校体育施設の活用を基本とする



費用負担や備品面においても学校体育施設の利用が望ましい。  
今後「学校体育施設開放事業」の業務を「部活動改革の運営主体」が担うことも模索中。

<課題>

- ・学校運動部活動との調整

19

## 新たな地域クラブへの取組（実証事業）

### 受益者負担

#### 低廉な設定となるように負担する対象を精査

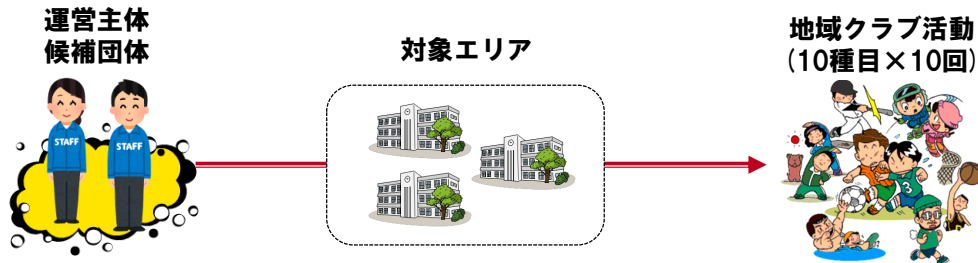


人件費や保険料を負担の対象とし、施設使用料は極力抑えるなど、低廉な設定となるよう努める。運営方針に明記する受益者負担金は、市全域で統一し、種目毎に個別に発生することが想定されるものは、実費として別途取り扱うなど…。

※実証事業において、受益者負担はなし

20

## 実証事業の計画【予定】



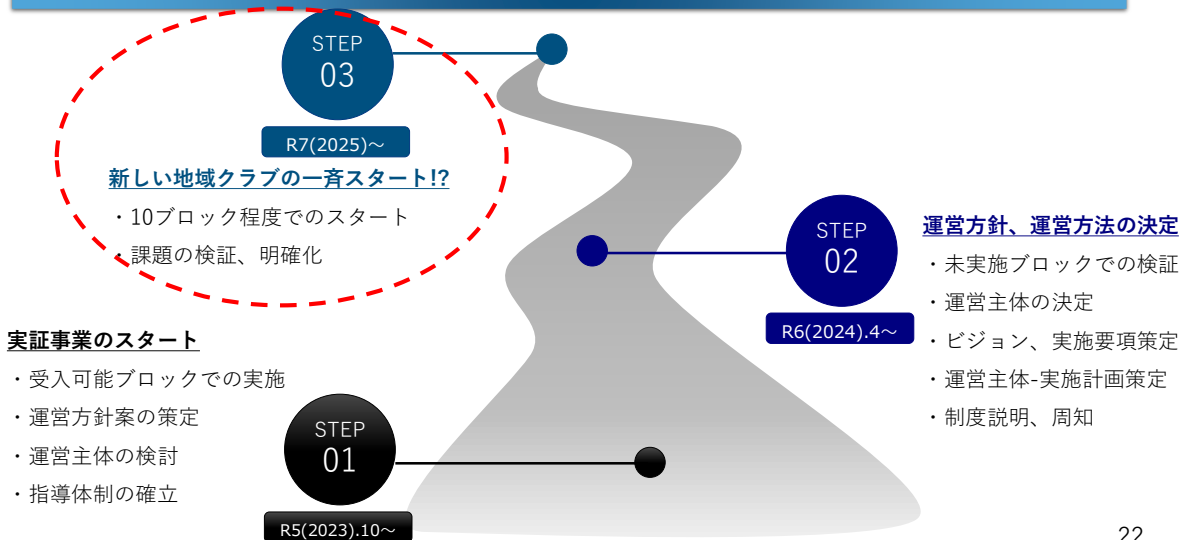
**1事業者当たり：100回程度の活動を計画**

**※4団体による4つのエリアでの活動（400回程度）  
を通して課題の検証を行う。**

21

## ロードマップ【予定】

実証事業を踏まえ、課題を解決し、まずは休日の地域でのスポーツ環境を一体的に整備します!!



22

## 協議会の設置【提言から】

地域スポーツ担当部署、地域スポーツ団体、教育委員会、小・中学校等の関係者による協議会を設置し、地域における新たなスポーツ環境の構築の在り方やスポーツ団体への支援等の整備充実方策、教師等の兼職兼業の仕組み等についての具体的な検討を開始。



**実証事業の取組を踏まえ、運営方針等を検討**

23

## 学校における運動部活動の在り方【提言から】

1. 誰もが参加しやすい運動部活動
2. 複数の活動を経験できる活動日数や時間
3. 活動時間の適正化
4. 指導体制の見直し
5. 地域のスポーツ団体等との連携・協働



**過渡期の学校運動部活動にも速やかな改革が必要**

24

## まとめ

---

### 懸念

「学校から運動部活動を切り離し、地域へ移行する」

このイメージが先行し、反発も多い。



### 地域クラブの目的

地域全体で子供たちの多様なスポーツの体験機会を確保

### ビジョン

地域の持続可能で多様なスポーツ環境を目指す!!

## 美祢市立中学校における

休日の部活動の段階的な地域移行を含めた

部活動改革について

～子どものスポーツ・文化活動の機会確保・充実に向けた部活動改革～

美祢市教育委員会

## 美祢市の部活動改革への取組

令和5年度美祢市立小中学校 学年別児童及び生徒数

R5.4.11現在

学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	児童生徒数
伊佐小	8	13	14	13	11	9	68
厚保小	8	2	5	3	7	12	37
大嶺小	...	...	...	...	...	...	...

小学校 22校 → 11校 約700名  
 中学校 8校 → 5校 約400名

10年余りで、児童生徒数が約半数に

小学校	69	74	91				234
中学校	26	35	25				86
秋芳中	15	16	19				50
中学校計	125	152	153				430
合計							1144

## 美祢市の部活動改革への取組（現状）

伊佐中 32人	厚保中 28人	大嶺中 234人		美東中 86人	秋芳中 50人
卓球 男子	卓球 男子	Sテニス 男子	Sテニス 女子	Sテニス 男子	Sテニス 男子
Sテニス 女子	卓球 女子	バレーボール 男子	バレーボール 女子	バレーボール 女子	バレーボール 女子
野球 混合	野球 混合	陸上 男子	陸上 女子	卓球 男子	卓球 男子
		弓道 男子	弓道 女子	Sテニス 女子	Sテニス 女子
		野球 混合	水泳 混合	卓球 女子	卓球 女子
		吹奏楽混合		野球 混合	野球 混合

3

## 美祢市の部活動改革への取組（方向性）

生徒数の急激な減少

生徒の多様なニーズ

教職員の働き方改革

そのため・・・？

複数校により合同部活動 ×

現行の部活動  
の限界

対応策

校区の枠を越えた活動

地域スポーツ活動、文化活動への移行、創設

4

## 美祢市の部活動改革への取組（R4年度）

### ①休日の部活動の段階的な地域移行実践研究

実践研究校：美祢市立美東中学校 全校生徒106人

地域活動指導員の配置：全部活動（運動部5 + 文化部1）

野球（1名 ※部活動指導員と兼務）

ソフトテニス男女（14名 ※市ソフトテニス協会から派遣）

卓球男女（2名 ※個人）

バレーボール女（4名 ※保護者、市外から）

吹奏楽（7名 ※地元のバンド）

◎人選（教育委員会学校教育課、生涯学習スポーツ推進課）

経費：運動部活動の事業経費の一部 → 委託事業（国、県）

不足分 + 文化部活動の事業経費 → 市費

※謝金（部活動指導員と同額、1日最大3時間）



## 美祢市の部活動改革への取組（R4年度）

### ②美祢市中学校部活動改革推進協議会 3回開催

6月29日、11月25日、2月17日

#### ・協議内容

◎中学校における持続可能なスポーツ・文化活動の在り方

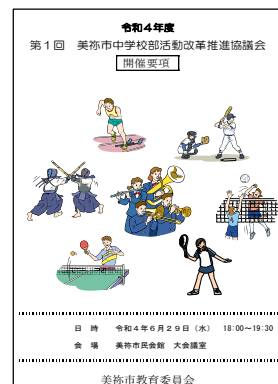
◎中学校部活動の地域のスポーツ・文化活動への円滑な移行とその活動を支援する体制

#### ・委員

小学校長会、中学校長会、中学校体育連盟、  
中学校文化連盟、PTA連合会、体育協会、  
スポーツ少年団、スポーツ推進委員協議会、  
文化協会、地区吹奏楽連盟、県立高校、私立高校

#### ・オブザーバー

美祢市にあるスポーツ・文化活動の関係者





## 美祢市の部活動改革への取組（R4年度振り返り）

### 推進協議会での発言

- 保護者の経済的負担、送迎の負担が増える。
- 大会の在り方、運営方法が課題。指導者の発掘、育成が必要。
- 企業の中には指導をしたいという人材がいる。
- 楽しむ活動の中で、競技志向を目指す次のステップにつなげる。
- 競技志向、レク志向に合わせて活動を分けていく。
- 多様なニーズ全てに応えることは困難。
- 教育的価値や集団の中での学びはどうか。
- 経済的な余裕のない**家庭への支援は必須**。
- 美祢市の将来にかかわる。
- 子供の楽しみにつながる活動にする必要がある。
- これまで**部活動が担ってきた教育視点を大切に**する必要がある。
- 人数の少ない活動は**市の枠を超えて活動**する必要がある。
- 地域移行した場合、種目によっては**週1、2回の活動**でもよいのでは。

7

## 美祢市の部活動改革への取組計画

- ・ R 4 休日の部活動の段階的な地域移行実践研究  
美祢市立中学校の部活動のあり方検討委員会の開催  
（学運協、協育ネット協議会）  
美祢市中学校部活動改革推進協議会の開催  
※地域スポーツ・文化活動への移行や創設についての協議
- ・ R 5 美祢市中学校部活動改革推進協議会の開催  
休日の部活動の段階的な地域移行開始（可能な学校から）  
地域スポーツ・文化活動の実践研究（可能な種目から）
- ・ R 6 休日の部活動の地域活動への完全移行  
地域スポーツ・文化活動の実践研究
- ・ R 7 地域スポーツ・文化活動への完全移行

8

## 美祢市の部活動改革への取組（R5の予定）

- ①第1回美祢市中学校部活動改革推進協議会  
5月30日（火） R5年度の取組や市のガイドライン案提示  
2回、3回の推進協議会の開催（啓発講演や研修会の開催）  
美東中部活担当、教育委員会、地域指導者の情報交換会
- ②地域スポーツ・文化活動の運営主体の発掘、募集  
可能性のある団体と連絡調整、協議  
文化活動については、公民館活動への参加を検討
- ③地域スポーツ・文化活動の美東中での継続と市内他校への波及  
休日の活動できるところから地域移行をしていく  
（年度初めから：3種目想定、新チームから：4種目想定）

9

## 美祢市の部活動改革への取組（R5の予定）

- ④地域スポーツ・文化活動への支援の体制整備  
スクールバスや公共交通機関の活用（地域振興課と連携）
- ⑤情報の発信  
HPやチラシの作成、説明会の実施等を通じて
- ⑥スポーツ・文化イベントの開催  
Mチャレ！の実施 多様なスポーツ・文化体験  
体験格差を解消することにもつながる。

10

## 地域スポーツクラブ・文化活動指運営団体募集



令和7年度から中学校の部活動はすべて地域へ移行をめざしています。  
令和5年度は、市内各中学校で休日（土）の活動を指導できる運営団体を募集しています。



### 応募できる団体とは

総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団、体育・スポーツ協会、競技団体、クラブチーム、プロスポーツチーム、民間事業者、フィットネスジム、大学など多様なものを想定しています。また、地域学校協働本部や保護者会、同窓会、複数の学校の運動部が統合して設立する組織や団体も可能です。

該当校	種目
伊佐中	卓球、ソフトテニス、野球
厚保中	卓球、野球
大嶺中	ソフトテニス、陸上、バレーボール、弓道、野球、水泳、吹奏楽
秋芳中	ソフトテニス、卓球、バレーボール、野球
美東中	※ 先行実施中



### 会費について

必要な範囲で、可能な限り低廉な会費を設定してください。市からの支援もあります。

### 活動の期間、実施日等

・令和5年度、土曜日3時間以内



詳細は美祢市教育委員会学校教育課又は生涯学習スポーツ推進課まで

TEL 0837-52-1118又は52-5261



## Mチャレ！

～ 美祢で見つける 夢中になれる 未来へのチャレンジ ～

- ・子供たちが普段の部活動とは異なる様々な文化やスポーツを気軽に体験できるイベントの開催



多様なニーズに対応した総合スポーツ型クラブへの発展

スポーツ【夏季】 8月6日、20日、27日	スポーツ【冬季】 12月17日、1月14日 21日	文化 8月2日、9日、23日
スケートボード 硬式テニス ゴルフ バドミントン ボルダリング・弓道	水泳 ラグビー ダンス ハンドボール 空手・サッカー	パン作り、手芸  華道、水彩画  陶芸

## 部活動の地域移行のメリット

- ・ 子供たちにとって魅力ある学校づくり
- ・ 専門的・技術的・安定的な指導
- ・ 生徒のニーズに応じた活動や種目の選択

## 課題

- ・ 保護者の経済的負担の増加
- ・ 適切な運営団体、人材の確保

13

これからの地域スポーツ・文化活動の姿

## 生涯学習の視点による 地域のスポーツ・文化活動の創出

## Well-beingな美祢市の将来像

トップスポーツクラブ 大学等との連携  
競技団体所属クラブ 退職教員  
民間スポーツ企業 スポーツ少年団

大人の支え

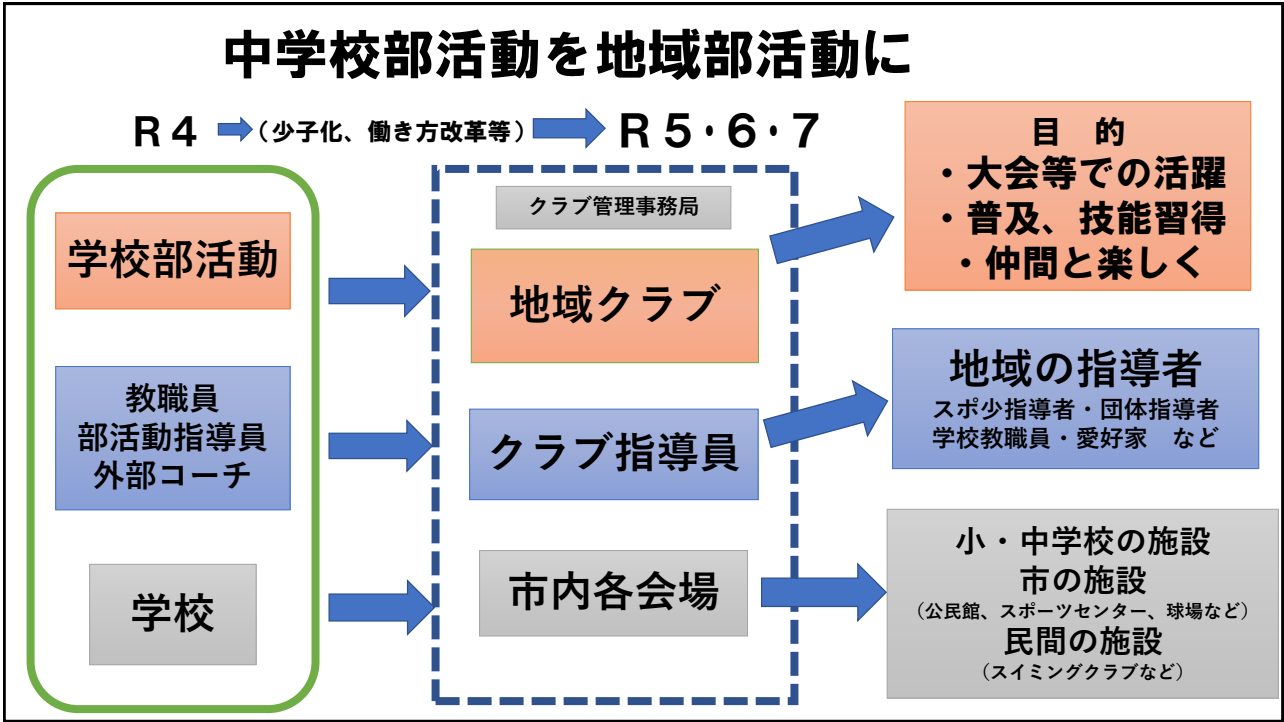
美祢市全域での  
多様な受け皿

保護者 スポーツ・文化施設管理団体  
子ども会 地域見守り活動団体  
総合型地域スポーツクラブ

興味関心や多様なニーズに応じた活動機会の確保による自己実現

# やまぐち部活動改革推進協議会 (2023/5/24)

防府市教育委員会学校教育課



中学校部活動を地域部活動に



A チャレンジ

B スキルアップ

C フレンドシップ

大会等で活躍したい。

技能を習得したい。

仲間と楽しく活動したい。

ク  
ラ  
ブ  
の  
分  
類

- ① 既存のクラブ（民間クラブ・公民館活動を含む）
- ② 既存のスポーツ少年団の中学部
- ③ 新たなクラブの立ち上げ
- ④ 中学校部活動を母体としたクラブ



例 吹奏楽クラブ(例)

A チャレンジ

活動場所

笑顔満開通りアスパラート  
三友サルビアホール  
等

指導者

防府吹奏楽団  
○○○○先生 ほか

練習日

毎週 月・火・木・金・土

必要経費

年会費 2,000円  
月会費 3,000円

B スキルアップ

活動場所

○○中学校音楽室

指導者

○○○○先生  
○○○○先生 ほか

練習日

毎週 月・火・木・日

必要経費

年会費 2,000円  
月会費 2,000円

C フレンドシップ

活動場所

○○中学校音楽室  
○○公民館

指導者

○○○○先生  
○○○○先生 ほか

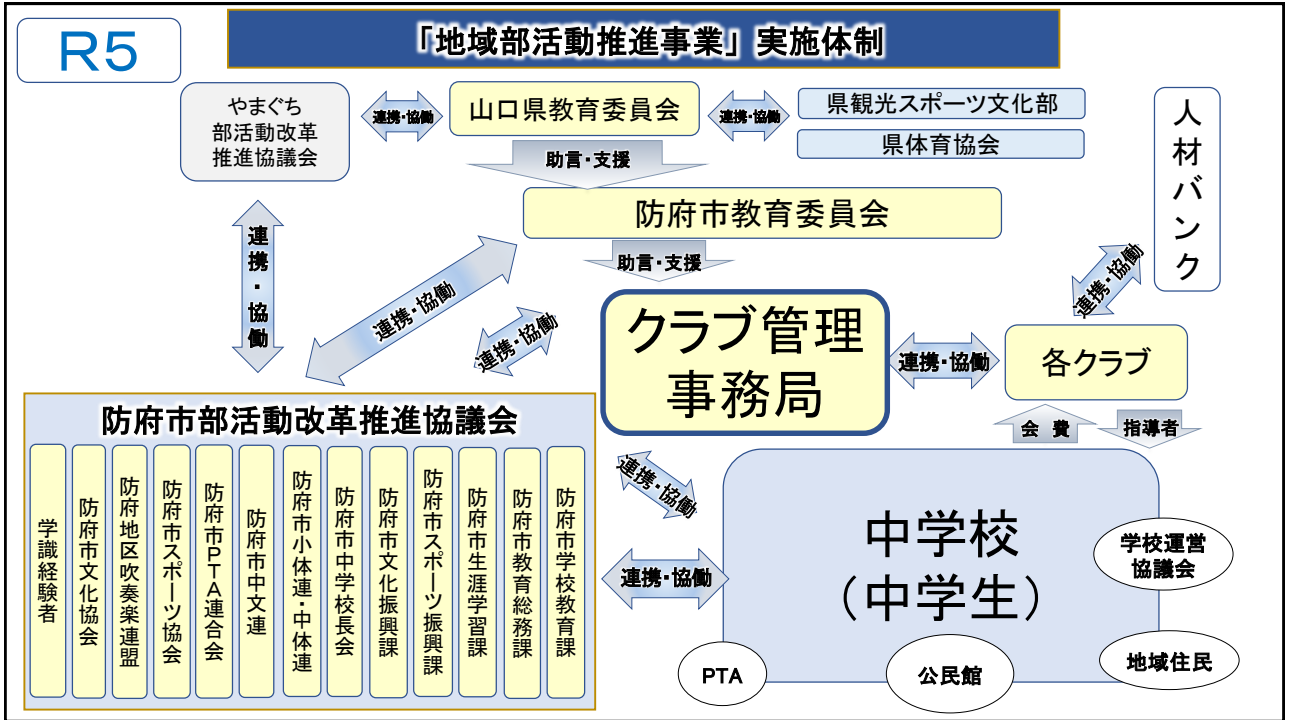
練習日

毎週 月・火・土

必要経費

年会費 2,000円  
月会費 2,000円

吹奏楽クラブ	野球クラブ	陸上クラブ
<b>A1 チャレンジ</b> 活動場所 笑顔満開通りアスパラート 三友サルビアホール 等 指導者 防府吹奏楽団 ○○○○先生 ほか	<b>A チャレンジ</b> 活動場所 キリンレモンスタジアム防府市 スポーツセンター野球場 指導者 ○○○○先生 ほか	<b>A チャレンジ</b> 活動場所 キリンレモンスタジアム防府市 スポーツセンター陸上競技場 ○○中グラウンド 指導者 ○○○○先生 ほか
<b>A2 チャレンジ</b> 活動場所 笑顔満開通りアスパラート 指導者 ○○○○先生 ほか	<b>B1 スキルアップ</b> 活動場所 ○○中グラウンド 指導者 ○○○○先生	<b>B スキルアップ</b> 活動場所 ○○中グラウンド 指導者 ○○○○先生
<b>B スキルアップ</b> 活動場所 ○○中音楽室 指導者 ○○○○先生	<b>B2 スキルアップ</b> 活動場所 ○○中グラウンド 指導者 ○○○○先生	<b>C フレンドシップ</b> 活動場所 ○○中グラウンド 指導者 ○○○○先生
<b>C フレンドシップ</b> 活動場所 ○○公民館 指導者 ○○○○先生	<b>C フレンドシップ</b> 活動場所 ○○中グラウンド 指導者 ○○○○先生	<b>C フレンドシップ</b> 活動場所 ○○中グラウンド 指導者 ○○○○先生



## クラブ管理事務局の運営について(令和5年度)

- ・配置人員(4名程度) 統括コーディネーター  
運動部・文化部地域部活動推進員  
事務局補助

### ・主な業務内容

- ①各クラブ・人材バンクの設立
- ②活動会場の整備
- ③運営必要経費の積算
- ④市部活動改革推進協議会の運営
- ⑤各種スポーツ団体・文化諸団体との調整・交渉
- ⑥山口県・他市町との連携・情報共有

## 地域部活動推進事業について(令和5年度)

子どもたちのスポーツ・文化・芸術活動の機会を将来にわたり確保できるよう、令和7年度末の地域部活動への完全移行をめざします。令和5年度は教育委員会にクラブ管理事務局を設置するとともに、先行してモデルクラブである剣道、柔道での地域移行に取り組みます。

### 想定クラブ数

- 剣道クラブ.....3クラブ
- 柔道クラブ.....1クラブ

### クラブ活動期間

令和5年8月から令和6年3月



## 令和5年度実施計画

時期	防府市全体	地域部活動推進事業
4・5月	令和5年度第1回防府市部活動改革推進協議会 (関係者間の顔合わせ、方針の確認)	武道団体との交渉 生徒・保護者への周知用パンフレットの配布
6・7月	地域部活動に関する意向調査 各種団体(スポーツ・文化関係)との連絡調整	実践準備(保険加入・会場確保・指導者確保等)
8・9・10月	令和5年度第2回防府市部活動改革推進協議会 (進捗状況の報告等)	実践開始(8月～3月) 大会参加(新人大会)
11・12・1月	令和5年度第3回防府市部活動改革推進協議会 (中間まとめ、検討事項の洗い出し)	生徒・保護者・指導者アンケート調査の実施
2月	令和5年度第4回防府市部活動改革推進協議会 (成果報告、来年度に向けた検討課題)	実践報告(まとめ)
3月	市部活動改革推進計画の策定	